

2023年度

授業概要

科目名	言語発達障害学Ⅲ①			授業の種類	演習	講師名
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期
【授業の目的・ねらい】 言語聴覚士として必要な知識である言語発達障害の特性を知り、臨床の場において行う評価・診断を繰り返し行うことにより、基本的な知識と技術を身につける。						
【実務者経験】 加西市立総合教育センターにて、発達支援アドバイザーとして心理相談・発達検査を実施し、コーディネーターとして地域医療機関と連携を図り、療育活動（SST、言語コミュニケーションなどのトレーニング）に従事する。 兵庫教育大学大学院、兵庫県立農業大学校、専門教育機関にて非常勤講師として心理学にかかる講義を担当する。						
【授業全体の内容の概要】 言語発達段階について理解するとともに言語発達障害の特性と評価・診断について学び、基本的な知識と技術を習得する。						
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 発達状況に応じた検査を行い、アセスメント・総合的所見を通して発達状態を把握することができる。						
回数	講義内容					準備物(教材)
1	オリエンテーション：言語発達障害の評価と検査の意義・目的について理解できる。 スクリーニング検査演習：遠城寺式、KIDS、PARS-TR etc.の概要と特徴について理解できる。					ノート
2	新版K式2001 発達検査① 概要と特徴と特徴について理解できる。					ノート 検査資料・器具等
3	新版K式2001 発達検査② 分析・見方について理解できる。					ノート 検査資料・器具等
4	田中ビネー発達検査① 概要と特徴について理解できる。					ノート 検査資料・器具等
5	田中ビネー発達検査② 検査分析と見方について理解できる。					ノート 検査資料・器具等
6	LCスケール、LCSAスケール① 概要と特徴について理解できる。					ノート 検査資料・器具等
7	LCスケール、LCSAスケール② 検査分析と見方について理解できる。					ノート 検査資料・器具等
8	事例（文献）を通して、LCスケール、LCSAスケールにおける子どもの状態像について理解できる。					ノート 検査資料・器具等
9	*WISC-IV① 概要と特徴について理解できる。 * WISC-V変更あり					ノート 検査資料・器具等
10	*WISC-IV② 検査分析と見方について理解できる。 * WISC-V変更あり					ノート 検査資料・器具等
11	事例を通して、WISC-IVとLCスケール、LCSAスケールにおける子どもの状態像について理解できる。					ノート 検査資料・器具等
12	PVT-R 検査 概要と特徴、検査分析と見方について理解できる。					ノート 検査資料・器具等
13	PF-スタディ 概要と特徴 検査分析と見方について理解できる。					ノート 検査資料・器具等
14	前期検査演習のまとめ① 各検査の概要と内容、分析方法と見方について理解することができる。					ノート 検査資料
15	前期検査演習のまとめ② 各検査の概要と内奥、分析方法と見方について理解することができる。					ノート 検査資料
【使用教科書・教材・参考書】 指定教科書なし						
【準備学習・時間外学習】 授業前後に予習復習を行い、授業内容にかかる国試過去問に目を通す。						
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。						